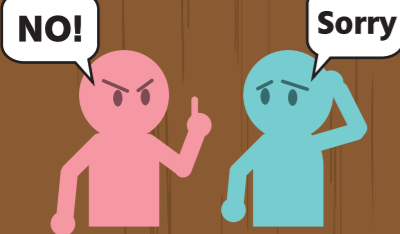


昆虫はかせネットワークから

これからの昆虫採集への提言

お互いに 注意し合おう！



採集者は昔のままではいけません。これからは変わっていく必要があります。自分は迷惑行為も違法行為もやってないからいいや、と無視できない時代です。お互いに注意し合っ
て全体のマナー向上を目指す必要があります。内側から正していくことが出来なければ、外側から規制されていくだけです。みんなで意識していきましょう。

情報や価値を 発信しよう！



昆虫採集の意義や価値を発信していく必要があります。自分がどんな虫を採っていて、それがどういう価値や効果があるのかをアピールし、昆虫採集に対する社会の理解をうながしていく必要があります。理解の第一歩は正しく知ってもらうことです。知ってもらう努力を怠れば、不審者扱いされたり、気味悪がられてしまうだけです。

人間と自然の 共生を目指そう！



採集を通して得られた知識や標本は、自然環境の保全や環境教育などの面で役に立ちます。マナー向上と情報発信の先に、私たちと自然の共生を目指しましょう。また、地域との共生も大切です。「地域の人に嫌われたら、それはそこに住むすべての虫に嫌われたも同然である」ということを肝に銘じておく必要があります。

• これからの •

昆虫採集

• について •

• 考えてみよう！ •



昆虫採集の意義



● 自然環境の状態の把握に役立つ

昆虫の種類を調べることで、自然環境の状態・健全さが把握できます。また、標本を残せばどこにどんな昆虫がいたことの物的証拠になるので、過去の環境を再構築することも可能です。

● 科学の入口として好適

身近にいて捕まえられるちょうど良い大きさなので、最初に生命に触れる対象として優れています。観察・研究にも適しています。

● 趣味になる

収集したり飼育するのに適しています。必ずしもお金をかけなくて良いので、子供でも手軽に楽しむことが可能です。

問題点



● 過剰・過激な採集による環境破壊

自然環境を破壊してまで昆虫を採集するひとがいます。また、大量に捕獲されて生息数が減っている種類もいます。

● 地域の迷惑を考えない

自分の採集欲を満たすために、様々な迷惑行為をするひともあります。許可を得ていない不法な採集も目立ちます。

● 悪質な業者の存在

お金のことしか考えていない業者が、上記の迷惑行為や不法行為を大規模に行う場合があります。

採集する側

に気をつけてほしいこと

マナーをまもる

昆虫採集によってほかのひとに迷惑をかけてはいけません。通行を妨げる路上駐車、採集トラップの放置、禁止区域でのライトトラップといった迷惑行為は絶対にやめましょう。

また、自然資源はその地域のもので、大量に捕まえて持ち帰るのは、地域資源の損失につながる可能性があります。周りに配慮したうえで、節度をもった採集が求められます。



ルールをまもる

法律や条例で、昆虫採集をしてはいけない場所、採集してはいけない種類が決まっています。罪を犯したら「知らなかった」では済まされません。

公園や私有地についても、採集して良いのか確認が必要です。許可なく勝手に採集すれば、さらに規制が強くなり、採集が許されない場所や種類が増えていくだけです。



昆虫採集の良さをアピールする

昆虫採集の公益性を意識しましょう。絶滅危惧種をリストアップしたレッドリスト作成への貢献、地域の豊かな自然の紹介、科学の入口としての昆虫採集・標本作製など、様々な恩恵があります。

社会に還元することを心がけ、昆虫採集への理解をうながす努力が必要です。個人の趣味にとどまる時代ではなくなっています。



規制する側

に気をつけてほしいこと

規制だけでなく モニタリングも

採集規制の目的は「昆虫をまもること」です。しかし、規制するだけではいけません。昆虫と生息地の保全をセットで考え、対象の昆虫が増えているのか・減っているのかを継続的に調査（モニタリング）していくことが大切です。

規制の目的は無法な採集者をしめだすことではないはず。本来の目的に立ち返り、今一度、昆虫をまもる方法を検討しませんか？



採集に理解を

昆虫をふくむ地域の自然をまもるためには、採集は必要な行為です。昆虫が増えたのか減ったのかは、採集による調査をしてみないと分かりません。そうした採集・調査の結果に基づいて、レッドリストなどはつくられています。

昆虫採集の社会的な意義を考慮する必要があります。業者や一部の過剰な採集行為とひとくくりせず、柔軟な対応が求められます。



「昆虫はかせネットワーク」とは

新潟にムシ好きを増やし、未来の昆虫博士を育て、昆虫研究を盛り上げていこうという団体です。昆虫観察会などのイベントを開催したり、勉強会や出版物作成をおこなっています。詳しくは konchuhakasenet.com/ または左のQRコードからアクセス。お問い合わせの際は、ホームページのお問合せフォームまたはホームページ記載のメールまでご連絡ください。

このパンフレットは、昆虫はかせネットワーク主催の公開シンポジウム「昆虫採集をかんがえる～地域との共生を目指して～」(2023年12月9日開催)の内容をまとめたものです。長岡市未来を創る市民活動応援補助金の助成をうけて作成されました。